

令和4年10月28日（金）開催
鏡野町行政評価外部評価委員会

かがみの創生総合戦略・地域再生計画

（議事録・要点記録）

【人口の現状】

委員：	人口の実績が人口ビジョンの推計値を下回った、低かったという事について、鏡野町としてはどういう評価か。そういう全体的な見方を最初にご説明いただきたい。
事務局：	人口ビジョンの推計値は、社人研の発表した推計値を踏まえ、町が施策を打つことによって減少を抑えた前提の推計値なので、その人口ビジョンの実績に至っていないということは、良い評価は下せないと考えている。 総合戦略が5年間ということで、施策等を打つことによって、達成に向けては簡単ではないが、取り組んでいきたい。
委員：	施策の柱が4つあるが、そのなかで、特に効果的だったもの、それから少し全体的に見て、もう少し頑張った方が良いのはどういうところか。
事務局：	基本目標2・子育て世帯に選ばれる環境づくり、ここで合計特殊出生率が伸びており、子育てしやすい町だと感じている町民の割合も90%ということで、子育てに関しては、注力した結果が表れているものと思われる。よって、効果があったと客観的に判断できるものとしては、基本目標2が一番だと考えている。 国勢調査によると、（就業人口のうち）鏡野町内で働かれている人の比率は、10年前の2010年と比べ、2020年は約3ポイント減の55.1%になっているため、鏡野町は、定住して他所の町に仕事に行く人が増えてきていると思われる。 なので、そういった方のニーズが高いと考えられることから、より定住化に力を入れる意味で、子育て支援に重点的に取り組んでいきたい。今後は引き続き鏡野町に住居を持って

<p>事務局 :</p>	<p>いただいて、町外に働きにでるといふ方のニーズを引っ張ってきて、人口減をとどめていきたい。</p> <p>人口動態の方で、町全体としては社会増ということで令和3年度の実績が出ているが、旧町村単位で見ると町の北部の上齋原や富、奥津、それから旧鏡野でも香北地区については、人口減少の方が進んでいると考えている。逆に、役場周辺については、新しい家が建ったりして、人口増になっているという構造である。それが合併以降、継続的に続いているということで、今の状態になっていると考える。</p> <p>やはり町内に高校等がないという事で、学校通学の際には交通の便の良い所、学校までの距離の短いところに住む傾向があると考えている。</p> <p>転入者はやはりそういった場所に転入されているため、周辺との公共交通や、経済的な支援の施策を進めていく必要があるかと考えている。</p> <p>高校通学の助成を今まで最高額が5千円としていたが、今年度からそこを手厚くするという施策を始めたため、こちらの効果を期待したい。</p>
<p>委員 :</p> <p>事務局 :</p>	<p>県外からの転居者の状況は。</p> <p>町内に大手企業があり、そちらに就職される方の転入が多いという事で、その寮がある地区に県外から転入者が多い。</p> <p>逆に、Uターンとして学生で一旦出られた方が戻ってくるという数は少ないと考えているため、そのあたりの対策も必要ではないかと考える。</p>
<p>委員 :</p> <p>事務局 :</p>	<p>鏡野町は令和3年に社会増ということで、これは他の自治体にはない特徴であり、全体的に人が都市部に流れるなかで、取り組みが優れていて自然減を補っている構図かと思う。町の施策の打ち方として、自然減を抑制する施策と、社会増を増やしていく、周辺の自治体から来てもらう施策、どっちに主眼を置いているか。この2つを意識して何か取り組んでいるか。</p> <p>自然増減については、どこかに特化してピンポイントで自然増、社会増に向けた施策を打つというよりは、全体のバランスを取って施策を打っていると考える。</p> <p>総合計画の方では「健康づくりの推進」に例年力を入れており、そこで健康寿命を伸ばすといったことの対策をしてい</p>

	<p>る。子育て施策にも重点を置きながら、健康づくりも推進することによって、自然増についてはケアをしていると考える。</p> <p>社会増については、総合戦略の中で雇用の関係も含め、定住化の促進をやっているため、その中で対策をしていると考える。</p>
--	--

【総合戦略】

基本目標 1 安定した雇用を創出する

- ①農林水産物を核とした6次産業化や農工商連携による農林水産物の成長産業化
- ②創業・起業等の包括的な支援による雇用と新産業の創出
- ③地域資源の活用・連携による新たな地域ブランドの創出
- ④新規就業の促進・定着支援と地域を担う人材育成
- ⑤競争力の高い農林業生産体制の強化と畜産基盤の強化
- ⑥観光資源の活用

<p>委員：</p>	<p>仕事があると、人が出ていかず、入ってくる人もいると思う。私の場合、町内に仕事が全然なく、津山市に行ってもなくて、結局都会にっていうことになって出ていった。</p> <p>帰ってきたときには年齢の都合で全然仕事が無かったりするため、また出たいとか思うこともある。</p> <p>だから、仕事が増えれば隣の津山市とかからでも働きに来るのではないかと強く思う。</p>
<p>事務局：</p>	<p>雇用の創出という事で色々と施策をしてきたが、津山市との境の流通団地、それから奥津地域に果物加工の工場を誘致し、現在のところは就業されているが、全て人手不足で困っていると聞いている。</p> <p>例えば、フルーツを加工する会社では、焼き菓子と缶詰と2種類をされているが、人が居れば両方のライン同時にずっと動かせるところ、交代交代でないと動かせないというようなことも聞いている。流通センターの方でも「人が居ればもう少し製造が出来る」という金属加工の会社もある。企業の需要と働きたい方の需要のマッチングが出来てないのではないかと考えている。そのあたりを調整していくのも行政の役割と考える。</p>

<p>事務局 :</p>	<p>仕事がないと働く場所がないということで、町の一番大きい事業としては、新規の創業の方に対して100万円の補助金を出すというようなことをしており、これは近隣にはない制度である。</p> <p>単に補助金を出すだけではなくて、商工会と連携し、事業計画を綿密に立てて、事業の目途が立った方に対して、事業の支援をするという事であるため、そういった企業が増えたら、たくさん雇用も増えるというようなことを一つの目標としている。以上が商工業に関することである。</p> <p>林業に関しては、令和3年度から新たな取組として、林業担い手支援事業というのをやっている。新たに来られた方だけでなく、林業の認定事業体というのがあり、そちらにも、新しく就業された方を雇われたら補助金を出すというような制度をしている。これもおそらく中国地方には他にない制度かと思う。</p> <p>そういった制度により、少しでも働く場を増やしていきたいと考えている。</p>
<p>委員 :</p>	<p>安定した雇用の創出ということで、ビジネスをとらえる時に、地域外からお金を引っ張ってくるビジネスと、地域内の住み人達のためのサービスみたいな、こういう分け方を我々もよく考えるが、外からお金を引っ張ってこられる企業が増えないと、どうしても人が増やせられない。</p> <p>例えば地元のためのサービスだったらやはり人口に比例してしまう。この地域であれば金属加工の事業者とか、町内大手企業とかそうしたところが非常に力を持たれているのが、一つ大きい雇用の要因なのかなと思う。例えば、町内大手企業と何か一緒にビジネスを広げていこうとか、例えばあそこの会社が大きくなれば、人が、雇用が増えるという、割とシンプルな話だと思うが、何かそういったことは町で考えているか。</p>
<p>事務局 :</p>	<p>町内大手企業とは観光の部分ではかなりタイアップをしている。指標にエコツーリズムルートというものもあるが、こちらでもそのルートの中に町内大手企業を入れている。今後新たに観光協会とエコツーリズムの協議会、観光のプロモーション本部が合体し、DMOを来年度発足させるということも今検討しているが、ここにも町内大手企業の方には企画に</p>

	<p>入っていただくというようにしている。観光の連携については取れていると思う。</p> <p>委員： 企業に定住してもらえような施策はどのようなことをしているか。</p> <p>事務局： 具体的な事業としては、商工業者の工業設備資金の利子補給ということで、新たな設備を投資された場合に、利子補給をするというような制度を、町独自で実施している。</p> <p>新たな事業等を取り組まれる所については、先進的なことを取り組まれなないといけないが、鏡野町で事業を行うことにメリットがあると感じていただけたと思う。ステンレス、金属加工の業者はその事業を採択されている。</p> <p>委員： 県外・町外から何とかお金が動く事業がないものか考えている。求人の募集も商工会に貼りだしているが、年齢制限、勤務内容等により課題がある。商工会としても、町と連携して色んな視点で考えてみたいと思う。</p> <p>地域の稼ぐ力というのが話題になっている。そういう意味で町外からお金を取ってくる、稼ぐ力、その稼いだお金を町内に回す循環の力というのが、心臓、循環器と一緒な意味で大事だというのはよく言われる話。このところは引き続き、取り組んでいただきたい。</p> <p>委員： 工業団地がもう全部埋まっていると聞いているが、新規の方があの場所には少なくとも入れないということになると、もっとそういった産業団地的なものがあったらいいのかなと思うが、そういった問い合わせやニーズ、町の方針みたいなものがあれば聞かせていただきたい。</p> <p>事務局： 言われる通り、流通センターは完売しているところ。</p> <p>1市5町で構成される定住自立圏において企業誘致についても話をしているが、町内に土地を買い取って団地を造るところは、大きなリスクがあり、失敗した事例もたくさんあるところで、慎重に検討はしていないといけないということで、今検討している最中である。</p>
--	--

基本目標 2 子育て世代に選ばれる環境づくり

- ①新婚・子育て世帯の定住に向けた経済的負担の軽減
- ②延長保育促進、一時預かりによる就労形態の多様化に対応した子育て支援
- ③女性が活躍できる環境の整備と子育て世代の仕事と家庭が両立できる働き方の実現に向けた支援
- ④結婚、妊娠・出産、子育ての悩みの解消に向けた相談・支援体制の充実

委員：	人口問題というのは、すごく深刻な問題になる可能性があるものだと思うが、最近奈義町は出生率が3に近い数値だったと思う。一人当たりの出生率、そういった施策が実現するのは、相当難しい事であるという認識でよろしいか。
事務局：	奈義町もいろいろと取り組みをされている。「鏡野町も結構やっているな」という思いを私も持っているが、PRがあまり上手でないということを課題と思っている。 子育て支援課にしても、町内の保育園・こども園にしても、本当に素晴らしい取り組みをしていることをもっと表に出していこうということで、PRをしていきたいと思う。 なので、奈義町だからこそ出来るというところも無いわけではないが、逆に「鏡野町はこんなに頑張ってるよ」というところもたくさんあるので、そういったところを皆さんに分かっていただくようなことをしていきたいと思う。
委員：	奈義町の場合は、自衛隊の方が多くて、割と若い世帯が多いというところに違いがあるのかなと思うが、その辺は影響というのはあるか。
事務局：	また町内には大手企業があるが、独身の方が多いのか。 奈義町の世帯の構成については把握していない。 鏡野町では確かに大手企業の影響はあるが、独身の方が多い印象である。
委員：	合計特殊出生率が高いことは素晴らしいと思う。鏡野町は多子の世帯が多いと聞いたことがある。このあたりに効く何か特別な施策は打っているか。
事務局：	一つの例として、保育園の入園時の保育料が第3子以降は無償になるという施策はある。
委員：	現場では保護者の色々な声を聞かれていると思うが、そういった政策の効果というのは皆さん思われて、安心して3人

事務局：	<p>目以降生まれてるみたいな、そういった実感は持っているか。</p> <p>多子のご家庭も結構あるという印象を受けているため、一定の効果はあるものと思う。</p>
------	--

基本目標 3 新しい人の流れをつくる

- ①移住希望者への支援体制の促進
- ②特産品の開発・エコツーリズムの推進による交流人口の増加
- ③スポーツ合宿等の推進

事務局：	<p>委員： 町の方向性のプランなどを含め、移住者の受け入れ態勢というのはどういったことが出来るか。今、学校や働く場所が足りないという事で、それは不便な面だと思うが、何か対策があるか。</p>
事務局：	<p>まちづくり課の施策として、空き家を利用した長期お試し住宅ということで、特に人口減少が進んでいる北部地区、富地区、上齋原地区に整備し、子育て世帯を含め、皆様が入りやすい住宅を移住希望者に提供するという施策を考えている。</p>
事務局：	<p>委員： 電気は比較的簡単に電柱を引けば引けると思うが、下水道であるとか、行政サービスを受けるにあたっては、ある程度計画的な土地利用がされていないと、コストがかさむばかりで、住みにくい町になってしまうと思う。それを調整するのはかなりハイレベルな見通す力が必要かと思うが、具体的なそういったプランがあれば教えていただきたい。</p>
事務局：	<p>長期お試し住宅に関することだが、今年度、利活用可能な空き家の調査を実施する。</p> <p>町内に300件前後かと思うが、ランクをAからEランクの5段階で付け、A、Bランクは、最近まで住まれていた改修も必要ないであろうものをピックアップしたいと思っている。</p> <p>調査の後に意向調査を所有者に行い、賃貸であれば可とか、売買しても良いとか、そういう物件を空き家バンクに登録していただき、プラントの中にある移住定住の総合案内所を通じて皆様に広報が出来たらと考えている。物件自体はこれから少し増えていくのではないかと思う。</p>

委員：	移住者というか分からないが、最近外国の女の人が結構来られていると思うが、今どれくらいの人数の人が来られて、どういう仕事をされているか。
事務局：	9月末現在、住民基本台帳に外国人で登録されている方が105人おられる。働き場所はブローラーの会社であるとか、鉄工所等にお勤めの方が多いとは伺っている。縫製関係もおられると聞いている。
委員：	鏡野町では外に働きに出る方が多いと聞いているが、物流関係の会社があるし、町外から来られてる人が結構多いのではないかと思うが、そういった部分はわかるか。
事務局：	手元に資料がないため調べて後ほどお伝えする。

基本目標4 住み続けたい魅力あるまちをつくる

- ①移動しやすい交通体系の整備
- ②支え支えられる地域連携の推進
- ③地区公民館講座の開設
- ④ふるさとづくりの推進
- ⑤保健・医療・福祉の推進による健康の確保
- ⑥安全・安心な居住環境の整備
- ⑦快適な居住環境の整備と再生可能エネルギーの活用

委員：	住み続けたい割合が、目標88%に対し実績83.9%というのは、そんなに変わらないのではという印象はある。世代別で20代だったらどれくらいの比率かを教えていただきたい。40歳よりも後の方は基本的には生活が定まってい転出はされないと思う。そうした方々の比率が仮に20%などの低さなら非常に今後が危ぶまれるなどと思うが、そのあたりについて、若い世代に対しての施策的な、政策的な打ちはどんなことをしているか。
事務局：	住み続けたい割合の20代は65.4%という数値が出ている。30代が85%程度でそれ以降も約80%の水準は全て超えている。仰るように40代以上も8割9割の方が住み続けたいという回答をしている。この1年前のアンケートを見たら3年度は10ポイントぐらい下がっているため、コロナ禍の影響を受けたという考察したところだが、施策としては20代に特化してというものは現状では打ってはいない。

	<p>今後こういう傾向が続くようであれば、対策を講じていく必要があるものとする。</p>
<p>委員：</p>	<p>町営バス、タクシー乗車人数が未達成で、この原因がコロナ禍と町の一般タクシーに対する助成事業が始まったという説明だったが、一般対象のタクシー助成は今後どうするのか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>町民に対してのタクシー助成については、総合福祉課で昨年の12月から開始している。65歳以上の免許証を持っていない方、障害者の方、妊産婦の方で生後1年までの方、この方については免許証を持っての方もOKという事業で、タクシー料金の6割を助成していく形を取っている。今後もこの事業については、続けていきたい。</p>
<p>委員：</p>	<p>バス、タクシーの乗り合いバスの方は目標達成していないことについて、この辺の対策としてはまた、新たな取り組みをするのか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>令和3年度に住民生活に必要な交通方法の確保、利便性の向上等を含めた目的で、鏡野町の地域交通計画というものを策定している。この中で、交通弱者である利用者の皆様にご利用いただける公共交通を今後も存続していくということで、利便性の向上等を検討していく。</p>
<p>委員：</p>	<p>人口動態を見ていくと、20代から30代に人口の転出転入の大きな変動があるが、それ以降というのはほとんど変動がなくなる。これは全国ある程度共通した動きである。</p> <p>そうすると、20代30代の人に住み続けたい、若い人たちがここに定住する、定着したくなるような施策を意識しなければいけない。</p> <p>だが、だからといって他の世代を無視してもいけないわけで、そこは事業の改善を引き続き、これからも続けていってもらえたらと思う。</p> <p>定着を支援するというのが主眼なのかもしれないが、他の柱と併せて、20代30代の定着という部分を考えると、ころが必要なのではないかとと思う。</p>

横断的な目標 1 多様な人材の活躍を推進する

委員 :	総合計画、総合戦略を作る時に、地元の高校生など若手の意見を吸い上げるワークショップをされたと記憶しているが、その後、そういう地元の中高生の気持ちとか考えとかそういうのを吸い上げるというのは、どのような形でされてきたのか。
事務局 :	中学生については、どういった町になってほしいかというようなアンケートを1回は取っている。 総合計画の策定時に意見を吸い上げるワークショップをしたときの子供さんが、もう大学1年生になられ、先日役場に来られた。鏡野町で来春に小学校3校が閉校ということを知りつけられ、それについていろいろとアイデアを聞いてくれないかということであった。今度そちらについても色んなことを具体的に出来るよう話をする約束をして別れたところ。

横断的な目標 2 新しい時代の流れを力にする

委員 :	自分はマイナンバーカードを作ったが、母は車にも乗れないし、連れてこなければいけないが、何回も来ないと出来ない。入院している人、施設に入っている人、そういう人にはマイナンバーカードの申請はどうしているか。
事務局 :	出張でマイナンバーカードの申請のお手伝いはさせていただいてるが、施設に入られている方のサポートについてはこの場では詳細を把握していない。担当に確認するため、この会が終わった後に伝える。
委員 :	DXをハードから進めていくのではなく、実はそういうソフトの部分、マイナンバーカードの問題は、私の義理の母もそういう問題が違う自治体で生じていたため、まったく同じ気持ちだ。情報システム系の話ではなく、そういう一般的なソフトの部分を含めて、この「新しい時代の流れを力にする」ということを進めていかなければいけないという貴重なご意見だと思う。これはそういうご意見として反映していかなければ。
事務局 :	国の方でも、DXについては誰一人取り残さないと言っている。
委員 :	鏡野町のマイナンバーカードの発行率は今どのくらいか。
事務局 :	60%台後半で、県内では2番目の水準である。

<p>委員：</p> <p>事務局：</p>	<p>それはなにか施策を打った効果によるのか。</p> <p>出張サービスを行った。今ではどこの自治体でもしているが、最初から取り掛かったというのが大きいのではないかと思う。</p> <p>それと、マイナンバーカードを使う町独自の電子申請のシステムや、コンビニでマイナンバーカードを使って各種証明書を取れるようなことも進めているため、用途についても広げている。</p>
-------------------------------	---

【地域再生計画】

道の駅「奥津温泉」飲食機能の強化による滞在型観光と食の拠点化計画

<p>委員：</p>	<p>町の検証結果でも「目標以下」とあり、客観的に見てKPIの数字自体は目標にはおよそ到達していないということではあるため、地方創生に有効であったとは言えないと言わざるを得ない。</p>
<p>委員：</p>	<p>KPIを設定したタイミングだが、コロナ前という理解でよろしいか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>平成28年度である。</p>
<p>委員：</p>	<p>例えば利用客の達成率が51%とあるが、今のコロナ禍という状況を考えると、効果があるないというより、計測不能な状態なのかなと思う。他の要因が大きすぎて政策効果の判断は難しい。鏡野町の方で「効果があった」という評価がなされているのは、より定性的な部分で、実際利活用されているところで判断されたのかなと思う。そういう意味では、効果が「有効とは言えない」とも言えないという状況なのかなと思う。</p> <p>特に道の駅は中核の施設で、非常に重要な所である。イベント、催事が出来るというところでは、やはりそういう施設は必要と感じる。</p> <p>一方で、これについてはご意見を頂けたらと思うが、やはり温泉地であり、魅力的な温泉旅館というものが不可欠なのかなと。今、星野リゾートとか色んな大手のチェーンが温泉地で旅館を増やしているところ。そういうところが新しい旅館を建てていくことが、こういう温泉地の活性化につながるのかなと単純に思っているが、鏡野町として、コロナ禍の今</p>

	<p>の現状で、まさに宿泊の部分で、温泉のそのあたりどういう風に思われているかということと、それに対して、町としてどういう打ち手を考えているかということをお願い。</p>
事務局 :	<p>こちらの温泉街につきまして、そういう施設がないというのは事実である。鏡野町としては、基本的には民間の意思にお任せしている状況である。</p> <p>鏡野町内の宿泊施設としては、町が持っているのが上齋原地域にある。こちらには、長年の経年劣化もある。</p> <p>それと、旧態依然とした国民宿舎としての経営をしている状況であり、これを11月29日に閉館することとなった。</p> <p>今後どうするかということだが、鏡野町としては、大手のアウトドアブランドメーカーと一応タイアップをして、今後の事業計画を立てている状況である。</p>
委員 :	<p>閉館に関して、県内の中でも大きい恩原高原スキー場があり、こちらにおいでになるお客様の唯一の宿泊施設がなくなるというのが非常に残念だなと考えているが、その辺のところは、恩原高原スキー場の今後の集客の問題も考えて、どのように考えているのかをお聞きしたい。</p>
事務局 :	<p>無くなるという事ではないということで、数年後には新たな施設を計画しているという状況である。</p> <p>いずれにしても施設が古い、それから以前の国民宿舎としての形態というのは時代にそぐわないというようなこともあり、いつかの時点では改築、やり直すというようなことが必要だったということで、それが今のタイミングだったということである。ご理解いただきたい。</p>
委員 :	<p>この多目的スペースは、文化スペースとして今もOKUTSU芸術祭に使われている。鳥取の県立美術館が令和6年か7年だと思うが、そうなるこの国道沿いで文化の回遊性も生まれる。令和6年には県北で、県下挙げての森の芸術祭が開催予定であり、鏡野町もそれに向けた観光振興も力をいれていくところ。こちら側のスペースというのは、結構可能性があるのかなと思っている。そういったところに情報発信も含めて力を入れていただきたい。</p> <p>それから恩原高原スキー場は、初級者から中級者まで滑れるところであり、県内のスキー客は良い所だと思っている。</p>

委員：	ぜひ維持していただき、そしてこの道の駅がちょうどいい立ち止まり場所になるため、ここは残していただいて、もっとブラッシュアップしていただけたらと思う。 K P I の数値は未達成というのは出てくるが、それ以上にこの施設の持っている魅力が定着しつつあるし、さらに発展させるという事を前提に、今後の展開を期待したいという評価としたい。
-----	---

【その他】

委員：	P R 不足という意見も出ていた。横断的な格好でしっかりとP R 出来る体制を整備したら、町としては取り組みやすくなるのではないかと思う。
-----	---